

# 「あいち自動車産業イノベーションプラン」アンケート集計結果

## 1 調査の概要

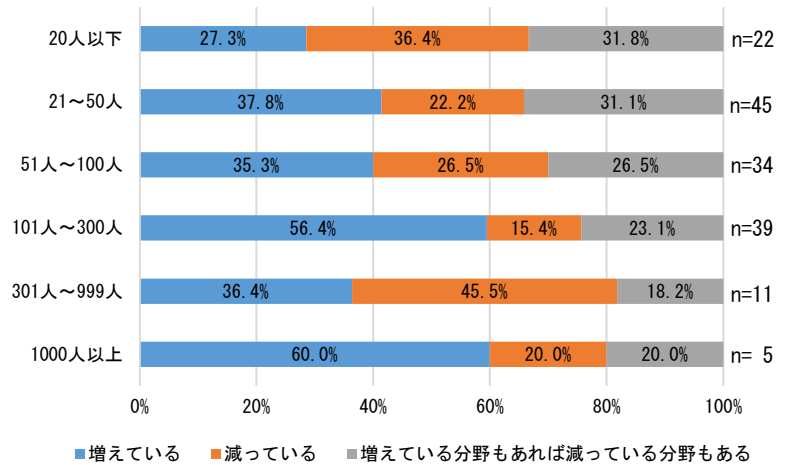
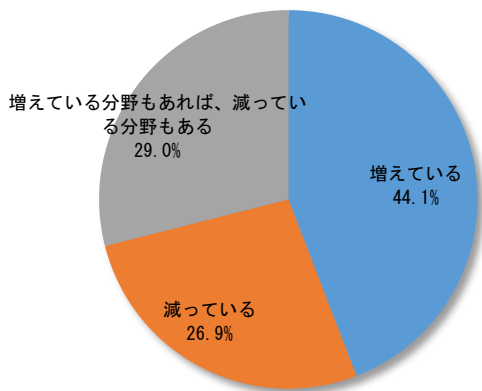
- ①調査期日：平成 27 年 4 月～6 月
- ②調査方法：質問票による郵送法
- ③調査対象数：735 社（愛知県金属プレス工業会、愛知県鍍金工業組合、愛知県プラスチック成形工業会始め 6 団体の所属企業）
- ④有効回答数：156 社（回収率 21.2%）

## 2 調査結果

- 140 社（89.7%）が従業員 300 人以下の中小企業。
- 148 社（94.9%）が自動車関連企業との取引がある。
- 自動車部品関連を主力とする企業は、110 社（70.5%）。

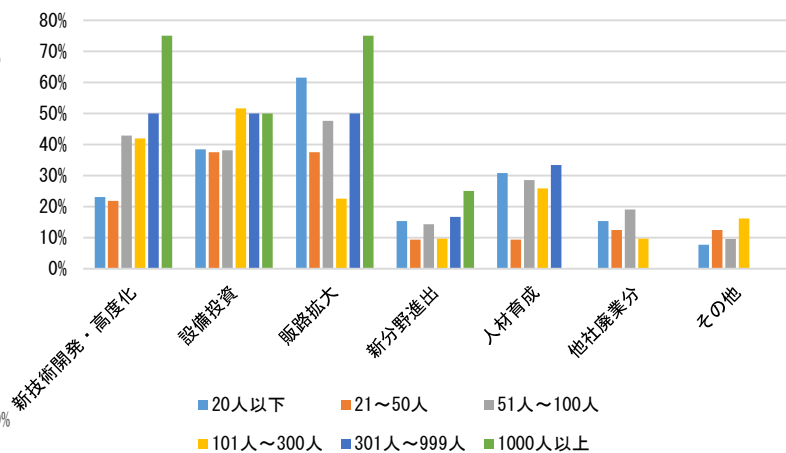
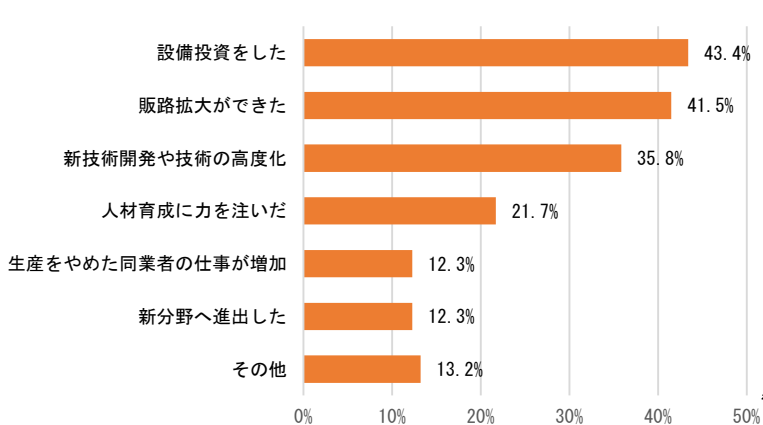
### （1）平成 22 年度（東日本大震災前、プラン策定時）と比較した自動車関連分野の仕事量

半数近くが仕事量は増えているが、規模の大きな企業の方が仕事は増えている。



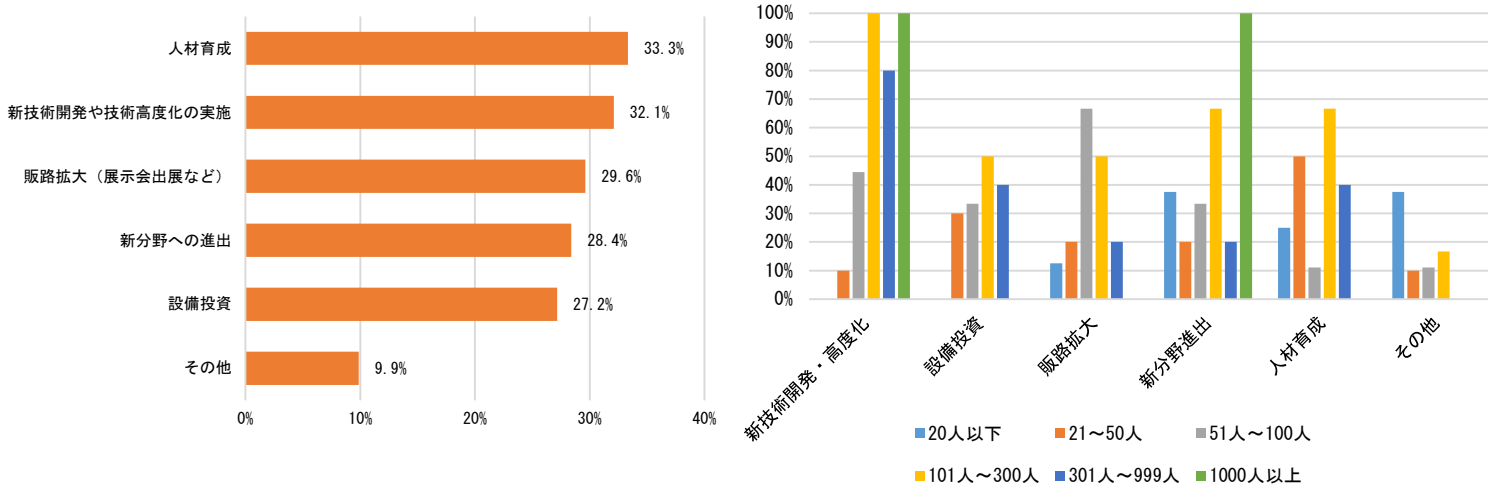
### （2）「仕事が増えている」理由

「設備投資」「販路拡大」「新技術開発や技術の高度化」が上位を占めた。規模の小さい企業では、「技術開発」よりも「設備投資」や「販路拡大」が多い。また、「他社廃業分」による増加は中小企業に限られている。



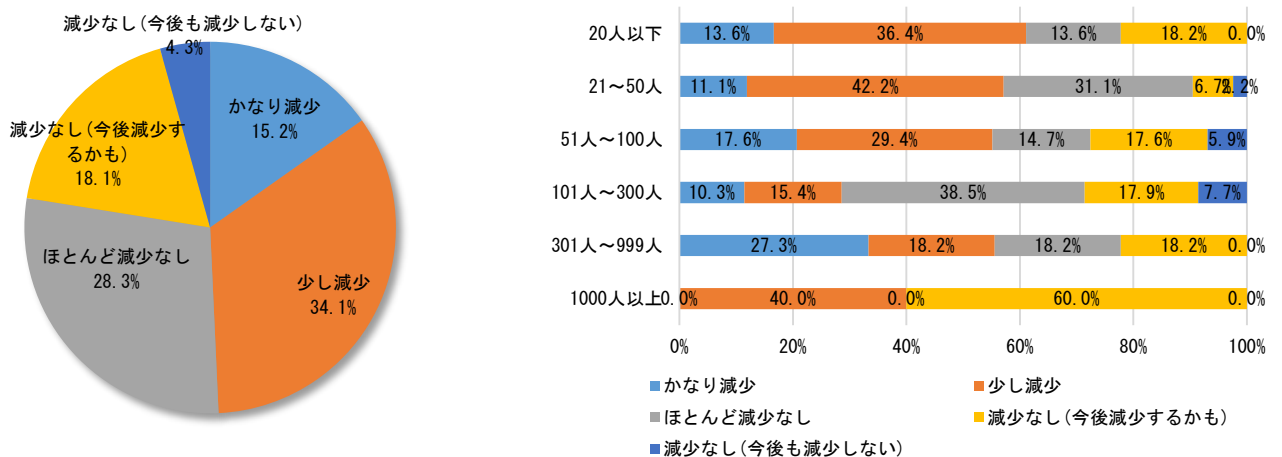
### (3) 「仕事が減っている」企業の今後の対応

「人材育成」「新技術開発」「販路拡大」「新分野進出」「設備投資」すべてで割合が高くなっているが、規模により異なる傾向がみられる。



### (4) 自動車産業の県外他地域への拡大の影響による生産量の減少

「かなり減少」「少し減少」でほぼ半数を占め、「今後減少するかも」を合わせれば、3分の2が減少の影響に直面。また、規模の小さい企業ほど「かなり減少」若しくは「少し減少」とする割合が高い。



### (5) 中小企業訪問ヒアリング (20社) における主な意見

- 自動車関連の受注は減少傾向にある。取引先が現地調達比率を増やしていることが主な要因である。(自動車部品・機械・設備製造業)
- 県内の自動車関連産業は縮小している印象。東北や九州、海外等に受注が流出している。(自動車部品産業)
- リーマンショック後は売上が下がったが、その後、廃業した同業者の仕事をすることとなり、結果的には販路拡大ができ、売上が戻った。ただ、東北での生産分については、全量、発注がなくなっている。(自動車部品産業)
- リーマンショック以降に業績が悪化というようなことはなく、新規の製法(ブロー成形)を始めたことから、仕事量が増えている。(自動車部品産業)
- 首都圏での展示会で他県がまとめて出展しているのを見て愛知県もやってほしいと思った。自社のみでの出展は中小企業にとってはハードルが高いので、県ブースがあれば出展したい。(自動車部品産業)

- 仕事量は、イノベーションプラン策定時と比較して減っている企業よりも、増えている企業が多い。
- しかし、約半数の企業が県外他地域への生産拡大の影響を受けている。(小規模な企業ほど、仕事量の増えた割合は少なく、他地域への拡大による影響は大きい。)
- 仕事量が増えている企業が実施してきたこと、減っている企業が今後対応したいことで共通するのは、「販路拡大」、「新技術開発」、「設備投資」、「人材育成」。